



# 職員による教室運営の自己評価結果を公表します



■サービス体系：児童発達支援 ■実施期間：令和7（2025）年11月1日（土）～令和7（2025）年11月15日（土） ■有効回答者数：（回答者）5名／（対象者）9名

| 項目       | ■  | チェック項目  | はい | いいえ | 工夫している点、課題や改善すべき点   |
|----------|----|---|----|-----|---|
| 環境・体制整備  | 1  | 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。  | 5  | 0   | 法令を遵守したスペースを確保しております。   |
|          | 2  | 利用定員やお子さまの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。  | 5  | 0   | 法令で必要とされる配置数に加え、指導員又は保育士を一名以上配置（常勤換算による算定）しております。   |
|          | 3  | 生活空間は、お子さまにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、教室の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。   | 3  | 2   | お子さまにわかりやすい設備配置やイラストを使用する等安心して過ごせるよう努めています。また、各種お知らせ等の掲示や段差等への整備を行い、情報伝達や環境整備の配慮に努めています。  |
|          | 4  | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、お子さまの活動に合わせた空間となっているか。   | 5  | 0   | お子さまが使用する机や椅子等の備品をはじめ、清掃の箇所や手順等を定めたチェックシートに基づき、毎日清掃・消毒を行っております。また、お子さまに併せて教材や環境の設定や配置等を行っております。   |
|          | 5  | 必要に応じて、お子さまが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。   | 5  | 0   | お子さまがいつでも個別の部屋や場所を使用することが認められる環境を確保しております。  |
| 業務改善     | 6  | 業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。   | 3  | 2   | 日次・週次で職員参加の会議を実施しています。また、半年毎に教室内全体での目標設定を行い、各自担当をもって実施しております。   |
|          | 7  | 保護者さま向け評価表により、保護者さま等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。  | 3  | 2   | 保護者さま向け評価アンケートを実施し、保護者さま等の意向等を把握する機会を設け、業務改善につなげております。  |
|          | 8  | 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。  | 5  | 0   | 日次・週次で職員参加の会議を実施しています。また、職員向け評価アンケートを実施し、職員の意向等を把握する機会を設け、業務改善につなげております。  |
|          | 9  | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。  | 1  | 4   | 現在は、お子さま及び保護者さまと社内の二者評価をとっています。第三者による外部評価については、必要に応じて実施を検討してまいります。  |
|          | 10 | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。   | 4  | 1   | 一ヶ月間の新入社員向け研修をはじめ、すべての職員に対し、継続的な研修体制を整えております。引き続き研修体制の更なる充実化を目指し、取り組んでまいります。  |
| 適切な支援の提供 | 11 | 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。   | 5  | 0   | ラウンジ内に支援プログラムを掲示するとともにホームページにも掲載しております。引き続きわかりやすい情報伝達に努めています。   |
|          | 12 | 個々のお子さまに対してアセスメントを適切に行い、お子さまと保護者さまのニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画（個別支援計画）を作成しているか。  | 5  | 0   | お子さまの支援計画期間毎にアセスメントをとり、ケース会議を経て個別支援計画を作成しております。引き続gioお子さまと保護者さまと共にニーズや課題に沿った個別支援計画の作成に努めています。   |
|          | 13 | 児童発達支援計画（個別支援計画）を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、お子さまの支援に関わる職員が共通理解の下で、お子さまの最善の利益を考慮した検討が行われているか。  | 5  | 0   | お子さまの支援計画期間毎にアセスメントをとり、ケース会議を経て個別支援計画を作成しております。引き続gioお子さまの最善の利益を考慮した個別支援計画の作成に努めています。   |
|          | 14 | 児童発達支援計画（個別支援計画）が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。   | 5  | 0   | ケース会議や日次・週次に実施している職員参加の会議で個別支援計画を共有し、計画に沿った支援を行っております。  |
|          | 15 | お子さまの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察等も含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。   | 5  | 0   | お子さまの適応行動の状況や日々の行動観察等は、支援記録やアセスメントを使用する等により確認しております。また、朝礼・締めくくりを日次で実施し、職員間での情報共有を行っております。   |
|          | 16 | 児童発達支援計画（個別支援計画）には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、お子さまの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | 5  | 0   | 各支援内容からお子さまの支援に必要な項目を適切に選択し、具体的な支援内容が設定した個別支援計画を作成しております。引き続gioお子さまにとって適切な個別支援計画の作成に努めています。   |
|          | 17 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか。  | 4  | 1   | 職員の適性を考慮した上でチームを編成し、活動プログラムの立案を行っております。   |
|          | 18 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。  | 5  | 0   | お子さま一人ひとりの特性等に合わせ、効果的に楽しく学べる支援を追求しております。次の学びにつながる成功体験を重視し、お子さまが自発的に適切な行動をとったり、学びやすい環境を提供できるよう、引き続gio努力してまいります。                          |
|          | 19 | お子さまの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画（個別支援計画）を作成し、支援が行われているか。  | 5  | 0   | お子さま一人ひとりの特性や状況等に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせた個別支援計画を作成し、支援を行っております。   |
|          | 20 | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。   | 5  | 0   | サービス提供開始前に職員間で打合せを行い、当日行われる支援内容や役割分担等について確認し、チームで連携して支援を行っております。  |
|          | 21 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。  | 5  | 0   | サービス提供終了後に職員間で打合せを行い、当日行われた支援内容や役割分担等の振り返りを行い、気付いた点等の共有をしております。   |
|          | 22 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。  | 5  | 0   | 毎回日々の支援に関する記録をとり、定期的に見直すことでお子さまの成長や取り巻く環境の変化に合わせた支援方法を更新しております。   |
|          | 23 | 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画（個別支援計画）の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。   | 5  | 0   | 個別支援計画の更新毎に目標と支援内容の見直しを行い、それを基に次期個別支援計画を作成しております。   |
| 併行利用     | 24 | 障害児相談支援教室のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのお子さまの状況をよく理解した者が参画しているか。  | 1  | 4   | 障害児相談支援教室のサービス担当者会議や関係機関との会議には、児童発達支援管理責任者を中心にお子さまの状況を理解・把握している者が参画しております。  |
|          | 25 | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。  | 2  | 3   | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えています。但し、医療的ケアが必要なお子さまの受け入れに関しては、医療職員がいないため、医療（主治医や協力医療機関等）の意見等を確認した上で、慎重に判断しております。 |
|          | 26 | 併行利用や移行に向けた支援を行う等、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。   | 2  | 3   | インクルージョン推進の観点から支援を行っております。必要に応じて、併行利用や移行先、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等と関係機関連携を実施し、連絡票等を使用して支援内容等を情報提供や相互理解を図っております。                      |
|          | 27 | 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校（小学校部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。   | 3  | 1   | 必要に応じて、小学校や特別支援学校（小学校部）と関係機関連携を実施し、連絡票等を使用して支援内容等を情報提供や相互理解を図っております。  |

|                  |  |  |   |   |
|------------------|--|--|---|---|
| ■ 保育機関や保護者さまとの連携 | 28   | (28~30は、センターのみ回答)  |   |   |
|                  | 29   | 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援教室等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。                                    |   |   |
|                  | 30   | (自立支援)協議会お子さま部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。   |   |   |
|                  | 31   | (31は、教室のみ回答)   |   |   |
|                  | 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。                   |  | 2 | 3 |
|                  | 32   | 保育所や認定お子さま園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のお子さまと活動する機会があるか。  |   |   |
|                  | 33   | 日頃からお子さまの状況を保護者さまと伝え合い、お子さまの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。   |   |   |
|                  | 34   | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレン特・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。                 |   |   |
|                  | 35   | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。   |   |   |
|                  | 36   | 児童発達支援計画(個別支援計画)を作成する際には、お子さまや保護者さまの意思の尊重、お子さまの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、お子さまや家族の意向を確認する機会を設けているか。  |   |   |
|                  | 37   | 「児童発達支援計画(個別支援計画)」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者さまから児童発達支援計画(個別支援計画)の同意を得ているか。                         |   |   |
|                  | 38   | 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。   |   |   |
|                  | 39   | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者さま同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。 |   |   |
|                  | 40   | お子さまや保護者さまからの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、お子さまや保護者さまに周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。           |   |   |
|                  | 41   | 定期的に通信等を発行することや、ホームページ・SNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をお子さまや保護者さまに対して発信しているか。              |   |   |
|                  | 42   | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。  |   |   |
|                  | 43   | 障害のあるお子さまや保護者さまの意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。  |   |   |
|                  | 44   | 教室の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。   |   |   |
| ■ 保護者さまへの説明等     | 45   | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。              | 4 | 1 |
|                  | 46   | 業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。                                    | 5 | 0 |
|                  | 47   | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のお子さまの状況を確認しているか。   | 5 | 0 |
|                  | 48   | 食物アレルギーのあるお子さまについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。  | 2 | 3 |
|                  | 49   | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。                                 | 5 | 0 |
|                  | 50   | お子さまの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。                                   | 4 | 1 |
|                  | 51   | ヒヤリハットを教室内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。   | 5 | 0 |
|                  | 52   | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。   | 5 | 0 |
|                  | 53   | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、お子さまや保護者さまに事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画(個別支援計画)に記載しているか。      | 4 | 1 |
|                  | Copyright (c) 2025 VICL Co.,Ltd. All Rights Reserved. 無断転写・複製・転載を禁じます。 |  |   |   |